

「学生によるオレンジリボン運動」

東北福祉大学 実施報告書



実施主体 地域貢献サークル「まごのてくらぶ」

実施内容 平成24年10月28日学園祭にて実施

①事前に取り組んだ内容

- ・活動学生の「オレンジリボン運動」の理解と活動趣旨の徹底。具体的には厚生労働省HPIにある資料の配布と勉強会の実施。
- ・オレンジリボン運動公式サイトからの資料配布と勉強会の実施。
- ・活動拠点ブースに掲示する資料の印刷、看板等の製作



②実施期間に取り組んだ具体的内容

「ステーションキャンパス」会場

・電車から降車した方、特に10代～30代を中心にリーフレット、カード、リボンを配布。併せてオレンジリボン運動の認知度の聞き取り調査を実施。当日はオープンキャンパス開催日のため高校生の乗降者が多くみられ、配布したうちの半数近くが高校生であった。

・配布者数243人

「国見キャンパス」会場

・JRを利用者しない10代～30代を中心とした来場者や本学学生にリーフレット、カード、リボンを配布。ステーションキャンパス同様にオープンキャンパスのため来校した高校生が多かった。また、本学教職員へリーフレット、カード、リボンの配布や、オレンジリボン運動の認知度の聞き取り調査も実施した。

・配布者数260人

「学祭実行委員」への配布

・事前に250名の学祭実行委員の学生全員へリーフレット、カード、リボン等の配布を行い、学祭当日は着用して臨んでもらった。

「その他」

・リボン、リーフレット等の置き忘れや拾得については実施主体学生や学祭実行委員の協力のもと随時回収を行った。



③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

本学学生、教職員、学祭ならびにオープンキャンパス来校者の合計753人への配布、啓発活動ができた。うち、学祭実行委員を除く配布、オレンジリボン運動の認知度聞き取り調査の結果は以下に示す通りである。調査人数383人／配布503人中

	おおよそ理解している	名前は知っている	全く知らない	合計
男性	5 (5.0%)	2 (2.0%)	93 (93.0%)	100
女性	28 (9.9%)	10 (3.5%)	245 (86.6%)	283
合計	33 (8.6%)	12 (3.1%)	338 (88.3%)	383

※学祭実行委員は調査対象に含まず。

本学学生をはじめオープンキャンパス来校者の男女比率などを踏まえ、特に女性への配布、調査が7割強を占めた。全体的には啓発活動そのものに関し、好意的に応じてもらうことができた。

調査結果は「オレンジリボン運動」自体を知らないと答えた人の割合が9割近くに上ることが明らかになった。また、来場者からは同じ形のリボンを象徴とする類似した啓発運動が他にもあるため、紛らわしいという意見も聞かれた。

オレンジリボン活動を実施した学生自身も児童虐待について当初理解不足であったが、今回の活動をきっかけに児童虐待について更に現状等の理解を深めることができとても有益であったと感じている。また、将来的見地に立てば決して他人事ではなく、不安を覚えたという意見も出た。

将来子育てを経験するであろう学生自身が、何の落ち度もない多くの子どもたちを虐待の環境から救うため、また、そのような境遇に遭わせないために微力ながらも活動できたことを学生自身誇りに感じてほしいと切に願うとともに、今後も継続した取り組みへの働き掛けの必要性を感じた。

